

氏名	清水 新悟	部署	理学療法学科	職名	助教
研究分野	義肢装具学 スポーツ工学 動作分析				
学位	博士（学術）				
学歴	名城大学博士前期課程修了 名古屋大学博士後期課程単位取得後満期退学				
経歴	医療法人三仁会（平成15年4月～平成26年3月） 北海道科学大学（平成26年4月～令和4年3月）				
所属学会（役職）	日本義肢装具学会（正職員） 日本理学療法学会 日本スポーツ整形外科学会 日本膝関節学会 臨床スポーツ医学会 バイオメカニズム学会 日本足の外科学会 日本義肢装具士協会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	足底挿板は扁平足例の肩関節周辺筋力を増大させる	共著	あり		日本義肢装具学会誌 Vol. 40, No. 3, pp210-212	清水新悟 桑原基宏 後藤 慎 岩堀 裕介	2024年7月
2	Plantar Plate Increase Upper Extremity Muscle Strength in Patients with Flat Foot	共著	あり		HSOA Journal of Alternative, Complementary & Integrative Medicine	Shingo Shimizu, Shin Gotou, Motohiro Kuwabara, Yusuke Iwahori	2024年5月
3	Plantar inserts therapy for hind foot subtalar joint valgus type in medial Osteoarthritis of the Knee	共著	あり	○	HSOA Journal of Alternative, Complementary & Integrative Medicine	Shingo Shimizu, Hirokatu Hanamura, Kunio Ida, Yukihisa Katoh.	2024年5月
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	外反母趾矯正装具の開発についての検討	共同	第30回日本義肢装具士協会 学術大会(埼玉県)		清水新悟○、小川明、田中亜矢子		2024年7月
2	新しい概念の足関節サポーターの開発	共同	第40回日本義肢装具学会学 術大会(福岡県)		清水新悟○、犬塚俊裕、竹内大樹		2024年11月
3	新たな概念を備えた外反母趾矯正器具の即時効果	共同	第13回日本支援工理学療 法学会学術大会(東京)		清水新悟○、小川明、田中亜矢子、伴瑠 亜、花村浩克、猪田邦雄		2024年12月
4	足関節慢性不安定症に対する足関節サ ポーターの開発	共同	第11回日本スポーツ理学療 法学会学術大会(神奈川県 横浜)		清水新悟○、犬塚俊裕		2025年1月
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	症例研究費A	新しい概念を備えた足関節サポー ターの開発			清水 新悟		2024年4月～2025年3月

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学	○	8	義肢装具の名称や機能、適応を基礎を中心に学び、切断の評価からリハビリテーションを理解できるように工夫した。
2	IPW論		15	地域連携を意識し、チームワークを大切にできるように工夫した。
3	義肢装具適合支援学	○	8	アライメントの理解から義肢装具への応用、特に足部を中心に理論から評価を学び、実際に行えるように工夫した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	基礎運動学演習		2	姿勢制御について人の重心を理解し、転倒ないように身体が反応するシステムや関節モーメントを学ぶことで立位姿勢の保持を理解できるように工夫した。
2	臨床運動学演習		12	脳卒中片麻痺の歩行動作と大腿切断の義足歩行動作を見て動作分析を行った。2種類の歩行を確認し、その違いを述べれる様に行った。
3	理学療法セミナー1		10	臨床教育実習に学生が行く前の評価のテストである。
4	理学療法セミナーⅡ		10	臨床教育実習に学生が行く前の理学療法のテストである。
5	理学療法学研究法演習		1	どんな研究を行っているのか、選択科目義肢装具適合支援学の内容などをスライドを使用して説明を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	義肢装具学実習	○	24	実際に切断者を評価し、切断リハビリを理解する。また模擬義足を装着しての義足歩行練習なども取り入れることで義足歩行の難しさを体験する。
2	日常生活活動指導実習		18	福祉用具などを施設に行って実際に見たり触ったりして体験するように工夫した。
3	義肢装具学実習（OT学科）		3	作業療法学科に義足と切断の評価方法と模擬義足体験の実習を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2024.11	主指導 3名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ	地域連携	外反母趾の予防と保存療法 ～手術をしないで治せるのか？～	2024年9月
2	オープンカレッジ	地域連携	運動機能を向上させるインソールパッドの体験	2024年8月
3	臨床実習地講習会	学科	足底パッドによるアライメント補正 ～基礎編～	2024年8月
4	第16回補装具支援のあり方研究会	専門リハビリテーション研究会	補装具の歩行分析	2025年2月
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉産業保健総合支援センター	相談員（トータル・ヘルスプロモーション・プラン担当）		なし
2	日本義肢装具学会	正職員		なし

(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	倫理委員会にて研究の倫理審査を行う	2024.4～2025.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	地域連携委員会の委員として活動を行う	2024.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		